

2016年12月号

特集：テラヘルツ波応用とその可能性（イメージングを中心に）

赤外光領域の中でも波長約 15 $\mu$  m から 1 mm (周波数が 0.3 tera Hz から 30 tera Hz までの電磁波) は、テラヘルツ波と呼ばれ、“光と電波の境界領域”である。  
本特集では、イメージングを中心にテラヘルツ波の応用について取り上げる。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	総論	大阪大学
3	偏波独立型高速テラヘルツイメージング装置の開発	名古屋工大
4	ミリ波/テラヘルツ帯高速イメージングカメラの紹介	
5	赤外線暗視撮影におけるカラー化技術の開発	産総研
6	赤外天文衛星ASTRO-F「あかり」による全天サーベイ結果	JAXA
7	N I C T テラヘルツ研究センターの紹介	NICT
8	私の発言	「大森整（理化学研究所）」

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2016年11月25日  
 申込締切：2016年10月25日  
 原稿締切：2016年10月28日